



夏の朝、ここにしか流れない時間の中で日々を営んだ。

夏の終わりの朝、6時半。妻はもう下の畑にいる。植えたばかりの人参にスイスチャード。水やりを終えると、収穫した野菜を入れたカゴを提げて、坂道を上がってくるのが見える。今日は何をするの？昨日の雨で伸びた草を刈ってしまわないとね。庭に向いた部屋の雨戸を開けてしまうと、往こうとする夏がひと息に家の中に満ちていく。朝食の支度を聞きつけて、わたしとの散歩から帰った六太が、待ちわびたように鼻を鳴らしている。ここは、買った土地に建っていた、かつて80年余り人が暮らした家。設計士から改修して住めると聞いたときは、うれしくて信じられなかった。古い材を生かし、足りないところは新しく継いで。息を吹き返したこの家の、鴨居が組まれていた柱の跡に、わたしは異国のおまもりをかけた。思い描いた暮らしだね。いいえ、思ってた以上よ。大きくとった窓の側で、カゴから野菜を取り出す妻の手が深い緑に染まる。山と家と営みと。この家で食べる日々の食事は、いつも特別な味がする。

本物の素材、確かな設計を、古くより受け継がれる日本独自の理に合った技術でカタチにしていきます。今なお残る古き良き日本建築が示すように。



注文住宅 古民家改修 リフォーム 設計・施工

オークヴィレッジ  
木造建築研究所



岐阜県高山市清見牧ヶ洞846  
TEL.0577-68-2224

オーク 建築 | 検索

一級建築士事務所 岐阜県知事登録第8983号  
建築業許可岐阜県知事許可(特-26)第8528号